

(市長記者会見資料)

平成21年11月16日
京 都 市
〔交通局自動車部技術課〕
電話：863-5154



民間活力を導入した広告付きバス停留所の整備について ～ 民間との共働により魅力的なバス待ち空間の確保を進めます ～

京都市では、この度、市バスの利用環境の向上と更なる増客を図るための新たな取組として、民間活力を導入した広告付きバス停留所の整備を行います。

これは、民間事業者が広告パネル付きのバス停留所を設置し、事業者自らがその広告料収入をもって、設置した停留所の維持管理を行うというもので、京都市の費用負担が発生せずに停留所の整備促進を図ることができます。

記

1 事業の概要

民間事業者が広告パネル付きのバス停留所を設置し、事業者自らがその広告料収入をもって、設置した停留所の維持管理を行います。

- ※ 京都市の費用負担が発生せずに、停留所の整備促進を図ることができます。
- ※ 広告料収入は京都市には入りません。

2 整備するバス停留所の特徴

- (1) 利用環境の向上
 - ・屋根とベンチの設置を一体で行う
- (2) まちの景観との調和
 - ・京町家の千本格子等をイメージしたデザイン【別紙1参照】
 - ・歴史的建造物周辺では広告を設置しない
- (3) 周辺の安全・安心への配慮
 - ・照明設備を設置する



【設置イメージ】

3 事業者

本年8月に「広告付きバス停留所上屋整備事業」の企画提案を募集し、応募があった企画提案について、外部委員を含む選定委員会において審査した結果、事業者が以下のとおり決定しました。

(1) 事業者の名称

エムシードゥコー株式会社

(2) 事業者の概要

- ・フランスのジェーシードゥコー株式会社と三菱商事株式会社との合弁会社として、平成12年10月24日に設立。
- ・資本金：4億6千万円

(3) 事業者の特徴

- ・広告付きバス停留所の整備では、公営及び民間のバス事業者を含め30都市以上で1,000基以上の実績がある。
- ・親会社であるフランスのジェーシードゥコー株式会社は、世界的な注目を集める交通戦略であるパリ市の貸自転車制度「Vélib'（ベリブ）」を手掛けている。

4 今後の予定

バスの乗り継ぎ拠点や利用客数、発着回数の多い主要停留所から整備を開始し、市内一円に展開していきます。

今年度は、10箇所（※）の整備を行い、当面約400箇所での整備を目標としていきます。

- ※ 現在、屋根とベンチのない停留所：5箇所（西大路四条2箇所、他の3箇所は調整中）
現在、屋根とベンチがあり更新する停留所：5箇所（四条烏丸3箇所、西大路四条2箇所）

【設置箇所の詳細は別紙2参照】